





もう一つの彗星は、パンスターズ彗星(C/2012K1)です。昨年春に話題になったパンスターズ彗星と同じ名前ですが、もちろん別の彗星です。近日点を通過するのは8月27日ですが、7月下旬から8月中旬にかけては、地球から見て太陽の向こう側を通過する位置関係になり、観察ができません。8月末頃から明け方の東の低空に姿を現し、9月、10月と次第に南下しながら太陽から離れて見えやすい位置に移動してきます。このパンスターズ彗星もジャック彗星と同じように、太陽から遠ざかりつつ地球に接近する軌道になっているため、9月、10月と太陽からは離れるものの、地球から見た明るさはあまり変化せずに7等から6等台後半で推移するものと予報されています。

8月末から10月まで長期間にわたって観測できそうですが、うみへび座からいっかくじゅう座の、明るい星のない領域を移動していきますので、星図との対照で位置を探すには、ある程度の経験がないと難しいかもしれません。また、明るさも、田舎の



観測地で観察する分には小口径の望遠鏡で十分見える明るさの予報ですが、都市部ではそう簡単ではないでしょう。

彗星の挙動はなかなか予測できないので、事前の予報通りに明るくならないこともありますし、予想以上に明るくなるケースもあります。特に尾がどのくらい伸びるか、ということについては本当に予測しづらいので、多少の期待を込めつつ、注目してみましょう。

飯山 青海(科学館学芸員)